

高校生の Lovebook (ラブブック)

1. 企画団体

埼玉県高等学校図書館研究会（以下、高図研）で実行委員を募集し、司書7名で準備・運営を行った。

2. テーマ

高校図書館の部屋では、昨年好評だった「司書がいて生徒でにぎわう普通の学校図書館を会場に再現する」という流れを受けつつ「高校生の Lovebook (ラブブック)」というテーマのもと、ヤングアダルト向けの資料を中心に、高校生の現在を紹介する内容で本の展示や高校図書館の現状の紹介、図書館報や図書館日よりなど、高校図書館の生資料の展示を行った。

3. 参加者

382名。スタッフ12名含む。

4. 準備

5月に実行委員会を立ち上げ、計4回の実行委員会を持ち、メールでの意見交換・情報の共有化を図り企画を進めた。生徒でにぎわう学校図書館。高校生と本との出会いの場を提供する、司書のいる学校図書館。その図書館活動を県民の方々に広く知っていただくことを第一に考えた。また、早い段階で希望通り昨年と同じ硝子張りの部屋に決まり、実際に使用する部屋で実行委員会を持てたことはかなり効果的だった。

10月の上旬には「高図研.net」（埼玉県高等学校図書館研究会HP）に専用ルームを開設し、準備状況、お知らせ、当日スタッフ募集などの情報を随時アップしていった。

5. 企画

内容は本の展示「高校生の Lovebook (ラブブック)」と図書館活動の紹介を中心に行った。



展示室全景

A 図書館で人気の「高校生の Lovebook (ラブブック)」の展示

実行委員校の貸出データを持ち寄り、「今」高校生に人気のある本、いつでも高校生から需要のある実用的な人気本、そして今でも人気のあるライトノベルとケータイ小説の3つのジャンルに分けてリアルな「Lovebook」を展示した。

高校図書館で実際に人気のある、高校生活に密着したまさに“動いている”本たちを集めたコーナーになった。



「人気本」の展示

① 「今」人気の本

人気のある小説・コミックエッセイ・写真集・Pop-up 絵本などを展示した。

映画化やドラマ化した話題の本が多かったので、映画のパンフレットも一緒に並べた。また、希望した学校図書館にのみ FAX 配信されている柳田理科雄著「空想科学図書館通信」も本と共に人気があるので紹介した。

② 「高校生の実用書」

資格・進路・料理・音楽・スポーツなどの高校生にとって関心が高く興味を惹く本、需要のある本を展示した。

高校生活は大人が想像している以上に忙しいもの。そんな高校生たちをサポートするための本の展示はまさに「高校生の現在」がわかる展示となった。

③ ケータイ小説とライトノベル

一時期よりは利用は落ち着いたが、まだまだ貸出の多いジャンルである。中高生には人気があるが、一般にはあまり知られていない面もあるので人気本として展示を行った。

また、解説として「入門ケータイ小説」と「入門ライトノベル」の LibraryNAVI を作成し配布した。



「人気の実用書」の展示

B いろいろな展示

① 各高校の図書館報・図書館だより・利用案内の展示

学校図書館のスタッフ、司書と生徒図書委員、教諭の三つ巴で取り組む、図書館活動の集大成「図書官報」、学校図書館の利用のいろは（もしくは手引きでも）「利用案内」、そして図書館と利用者を繋ぐ「図書館だより」を展示。様々な広報活動の中に散りばめられた高校生たちの息遣いとセンスを感じてもらえたのではないかと思います。



「図書官報」「図書館だより」の展示

② LibraryNAVI の展示

LibraryNAVI (ライブラリーナビ) は手のひらに収まるサイズのじゃばら折りの情報ナビゲーターである。利用案内から本の紹介まで、いろいろな情報をコンパクトに紹介するためのツールとして各学校図書館で活用され始めている。

③ 浦和西高生作成の本の紹介 POP の展示

高校生の本への「Love」を充分に感じていただくため、彼ら自身のリアルな言葉で語っている POP を展示した。自分の好きな本を見つけて、喜んでいる参加者も多かった。

④ 三郷工業技術高生作 Pop-up 絵本の展示
美術同好会の生徒が図書館で展示していた Pop-up 絵本がきっかけで制作した作品を展示した。

各学校より LibraryNAVI・図書館報・図書館だよりを提供いただき図書館活動の一部として紹介した。また、生徒作成の本の紹介 POP や Pop-up 絵本は力作で、来場者の目を惹いていた。



「本のPOP」「Pop-up 絵本」「LibraryNAVI」の展示

C 高校図書館の今

① 埼玉の公立高校図書館の現状

高図研白書より学校数・司書数・予算・蔵書冊数・利用状況などをまとめ掲示した。

平成 20 年度「学校図書館の現状に関する調査」の学校図書館担当職員の配置状況は 71.1%。埼玉県で全校配置が実現・維持できているのは特筆すべきことと言えるだろう。

② 高校図書館の日常風景

高図研 HP、「高図研.net」の高校図書館アルバムの画像と春日部東高校放送部 NHK コンテスト発表作品「教室を良くするために」の画像を紹介した。パソコンを使用し、いろいろな高校図書館の活動・利用風景を見ていただいた。

③ リーフレット「高校の図書館ってどんなところ？」を配布

昨年のリーフレット「埼玉の高校図書館はこうなっている！」を改題・改訂し、配布した。

D 来場者へのプレゼント

① マーブリング体験&プレゼントコーナー

② 草加高生作成のしおりのプレゼント



「マーブリング体験」コーナー

色を選び、自分でマーブリングを行ってオリジナルブックカバーを作るコーナーは好評で、整理券も出たほどだった。また、生徒図書委員手作りのしおりも多くの方に喜んでいただいた。



生徒図書委員作成のしおり

6. 感想

- ・「自分が学生時代、図書館がこんなに華やかでステキな空間だったらもっと楽しくて大好きな場所だったのに…！と思いました。将来、図書館で働きたい！と思っているので、職員の方にたくさんお話が聞けて嬉しかったです。今日来て本当に良かったです。」（一般参加者）
- ・「Pop-upの本などすばらしいですね。高校生になると本を読まない子が多いと聞きますが、いろいろな楽しみ方があるのですね。」（一般参加者）
- ・「高校時代雨の日の図書館が学校の中で一番好きな場所でした。今でもそんな高校生がいるのでは…」（一般参加者）
- ・「やっぱりほっとできる場所。授業も順位も宿題もいろいろなプレッシャーからのがれられる…。今でもある種のがれ…懐かしい思い出が心に残っています。」（一般参加者）
- ・「高校生の子供がいます。いつも活発に活動されている様子を子供から聞きとてもうれしく思い 私も少し利用させていただいています」（図書館関係者）
- ・「いろいろと工夫されていました。埼玉県の司書の力量があるのがわかります。」（県外の学校図書館職員）

7. まとめ

硝子張りの部屋を活かし、色のコーディネートもトータルに考えサイン・POP・布等を用意し、会場をディスプレイした。手作りの良い雰囲気を再現できたように思う。

当日は、スタッフとして参加してくれた現役図書委員もいたし、Pop-upを作成した生徒も会場に足を運んでくれた。そして、多くの県内司書の方々も会場に足を運んでいただいた。来場者からは好評の感想をいただいた。

一日だけの展示ではあったが、「専任、専門の司書」のいる高校図書館の一端を紹介することができたように思う。



にぎわった高校の展示室